

コンストラクショニズム講演会

日時：平成 29 年 11 月 12 日（日）13：00～16：30

会場：戸畑キャンパス教育研究 3 号棟 3 階プロジェクトラボラトリ

～工学におけるコンストラクショニズム（構築主義）とは～

コンストラクショニズムは、MIT の研究者シーモア・パパートが提唱した知識獲得と学びに関する理論です。現実世界で何かを作る（構築する）ことは、知識を作る（構築する）ことでもあり、具象物を操作して何かを構築する時にこそ最も効率的に、最もよく学ぶ＝知識の探求を刺激する、と考えられます。本講演会ではコンストラクショニズムに沿った学びとはどのようなものか、実際にパパート教授が紹介した事例に沿ったプログラミング演習を体験しながら理解していただきます。工学に関わらず人間の学びについての基本的な概念とも言える理論を、この機会にぜひ体感してください。

講師 石原 正雄 氏（いしはら まさお）

（株）ロバート・ラスムセン・アンド・アソシエイツ ラスムセンアカデミー校長。

スクラッチ関連の著書を通じて、開発者ミチェル・レズニック教授とも親交がある、スクラッチに関して日本の草分け的存在。大学卒業後、株式会社 CSK 入社、AI ビジネス企画開発、金融ディーリングシステムのマーケティングなどに従事。CSK 在籍中にボストン大学経営大学院企業情報システム専攻留学。構造的文書技術の Interleaf でマーケティング、日本法人代表を務める。また、アメリカタフツ大学に設置されたものづくり教育研究機関 CEEO（Center for Engineering Education and Outreach）アドバイザーを務める（任期 2011-2015）。



参加ご希望の方は事前に PBL 教育推進室までお申し込みください

＊参加費無料

＊当日はノートPCをお持ちください

主催：工学部 PBL 教育推進室

内線：3402 mail：pbl-office@mns.kyutech.ac.jp